2020年（令和2年）
1月20日第371号

あんしん Vol 371

発行 株式会社 安藤プロパン

〒955-0095
三条市代官島川原271
TEL. 34-7656(代)
FAX. 35-6326

あんしん取材班が行く

〈金沢市木倉町〉

金沢おでん「カニ面」大関を訪ねて

大衆割烹「大関」

おでんは冬になると食べたくなる。最近はコンビニでも手軽に買うことができる身近な食の文化。

金沢は「おでん」が全国でも有名で、その具材の中で『カニ面』がメディアなどで取り上げられ注目された。カニ面とは「香箱蟹（こうばこがに）」と呼ばれる北陸地方で獲れるズワイガニを使用したもので、甲羅の部分に蟹身やメスだけが持っている内子・外子と呼ばれる卵を詰めたもの。香箱蟹の内子とはカニの甲羅の内側についている卵巣のことで、コクがあり味が濃厚となっている。また、外子とはカニの熟成した卵で内子よりも外側のお腹に入っている。カニの身を取り出して殻に詰め、蒸して煮るという手間ひまかけておでんの具材と並べられている。値段は「時価」。

カニ面に使用している香箱蟹の解禁日は毎年11月上旬から12月末ごろまでで、カニ面は短い時期でしか味わうことができない希少な逸品。

金沢おでん専門店に電話を3軒ほどしたところ「カニ面」は昨年12月末日で終了したとのこと。しかし一軒だけ、1月8日(水)に来店下されば有る、とのことで一路、金沢市へ。

大衆割烹「大関」は、金沢市役所、金沢城、兼六園などのいわゆる繁華街の片町の隣町内木倉町に有る。創業は昭和32年に初代の平角太郎さんが創業した。現在は息子で2代目の平吉晃さん、女将の好子さん、二人の息子さんの四人で営む。「大関」の店名は初代の平角太郎さんが相撲が好きだったから。店の日本酒は"大関"、ビールは"キリンラガー"に拘わる。初代の平角太郎さんは百歳になっても店の調理場に居たという。隣の席に座わった老夫婦が教えてくれた。「私は40年この店に通っています」

先代がマスコミの取材に応じた記事のパネルが小上りの壁に吊るされてあった。平角太郎さん曰く、『大衆というのはせっかちだから、注文したらパッと料理が出てこないとダメだ。これが商売のコツ、そして「うまい」と言っていただいた料理の味は変えない。』

すぐ出せる「おでん」は人気だ。カウンター席は12席ほど。次々に客が来店し、皆さん目の前にあるおでんの具材を注文する。女将さんは素早く皿に盛りつけ提供する。客はビールを注文し、おいしそうにおでんを食す。先代が言うように、おでんはパッと出てくる。平角太郎氏は『商売は立地も大事だ。私の店は最初は茶屋街付近にあった。創業して十八年経てこれからの商売は片町が中心になると考えた。私が50歳の時だ。当時の木倉通りは今では考えられない位に寂しい処で、飲食店は二、三軒。移転直後は客はほとんど来なかった。しかし、東京五輪へ昭和39年東京オリンピック）の時ぐらいから商売は軌道に乗り出した。商売は何でも最初から好調というのは難しい。まずは辛抱が肝心』

金沢おでんの「カニ面」はカニの旨味が詰まっている。だし汁も薄い。女将さんにだしは何ですかと聞いたところ企業秘密で教えて頂けなかった。

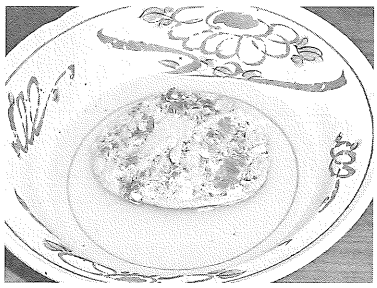
「鴨じぶ煮」（一人前二千円）は金沢名物。鴨は新潟県から仕入れるという。

「カニ面」を今の時期、大関だけで食べることができたのは、仕入れ先の漁協、漁師との信用の賜物だと感じた。

カウンターの隣席の客との語らいも楽しく、北陸新幹線のおかげで金沢市は賑わっている。

▶小上がりに吊るされていた2代目平吉晃さん好子さん

▶女将の平好子さん


▶カニ面

▶鴨じぶ煮

▶店内

2020年世界金融危機の足音＝深刻なドル不足！

社長　安藤幸広

不安定要素1．2020年1月3日米国トランプ大統領は電撃的にイラン革命防衛隊の対外交工作指令官ソレイマニ氏の空爆殺害を命令実行させた。イラン政府は米国に対し直ちに報復をすると表明、正月早々、中東地域での地政学的危機的な事案発生となっている。トランプ大統領はイラン側からの報復攻イッターで攻撃が起き米国人及び米国の施設に被害が生じたなら直ちに52ヶ所のイラン側施設等攻撃するとつぶやいている。双方の大規模な軍事衝突が起きて何が起こるのか分からない状況となった。

不安定要素2．EUの金融市場では、イタリアとスペインが既に危機的な状況になっている。『イタリア』はこの20年間政党間の主導権争いが頻発連発し連立政権ご解散13人の首相が交代している。EU統合時ドイツに次ぐ2番目の約2兆円規模のGDP（国内総生産）を誇るイタリアであったが徐々に経済は悲劇的に悪化し2019年末のイタリア国内銀行は不良債権を多額に抱えGDP比20％規模、日本円換算で約40兆円もの不良債権を国内銀行6行が抱えている事が明らかになっている。

そしてドイツ銀行のはだ。

このイタリア銀行6行のCDS（金融破綻保障保険）を引き受けている模様で、もしこの6行でも破綻したらその連鎖破綻の倒しはEU圏内に留まらず世界中に広がって行く。

次にスペイン。『スペイン』では昨年7月から金融規制がとても強化されている。①、スペイン国内の銀行に口座を持つ預金者に対して毎月の取引額が日本円換算で約27万円以下の場合は口座維持手数料を年間60ユーロ＝7,200円分を徴収する。②ATMで一日当り払い出しできる金額は3,000ユーロ＝約36万円に制限する。③、銀行窓口でお金を下ろす場合や他行に送金する場合は通帳を作った銀行の支店でしかお金をおろせないし、AM9時からAM11時までの2時間しか事務対応しないという事が実施されている。イタリアとスペインから既に金融危機は起きており、預金の払出し制限をしてきて取付け騒動等が大きく時間稼ぎしているようにはないかと考えられる。

不安定要素3．米ドルについても大変な異変異常事態が発生している。世界中で猛烈なドル不足が起きているのだ。直近の発行量は2008年リーマンショック時残高の2倍の量が既に発行されドル圏に供給されている。しかしその発行された80％は米国ではなく、米国以外で流通し滞留しているというのだ。米国ムニューシン財務長官はコメントしていた。米国FRBが大量に発行し供給するドル紙幣の80％が米国以外の国でドルを手にしたいと思う個人・企業・各国中央銀行もタンス預金化しているというのだ。オックスフォードのエコノミスト、アダムスレーター氏によれば『政策金利はマイナス1％程度が限界でそれ以上マイナスになると人々は銀行から預金を引き上げ現金や金（ゴールド）や貴金属に変えるか別の国に資金を逃避させる行動に出る』と分析している。マイナス金利国の人々は『どうせマイナス金利で銀行から口座維持手数料もとられるなら、心配なら銀行に預けておくよりは利息も付かない事だしタンス預金をしておこう！』となる。日本の銀行でも口座維持手数料を取ろうとすれば同じことが起る！。イランは保有するドルが米国によって管理使用制限されているので大きく暴発しようにも暴発出来ないと考えるがしかし、

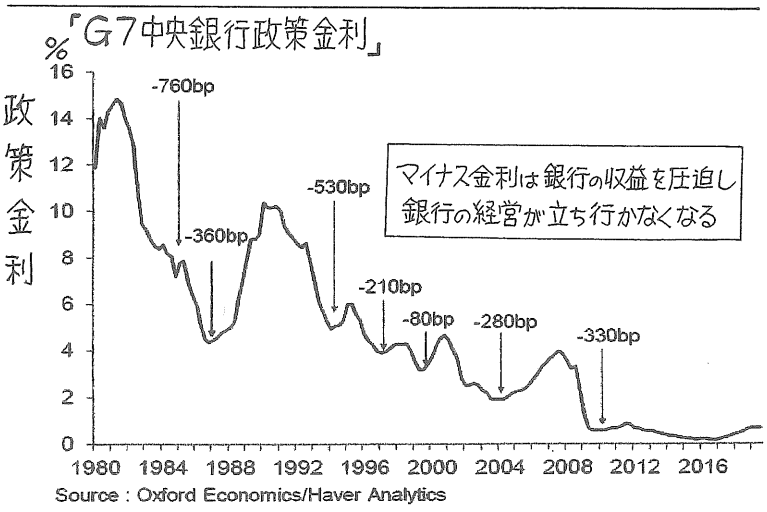
不安定要素4．原油価格急上昇は世界的なドル不足をとても加速させる。ドル保有量が少ない国家や各国中央銀行からドル不足連鎖（アジア通貨危機みたいな事態）につながって行く事もあり得る。イラン原油の最大の購入先は中国。もしイラン原油が止まると中国経済が危機となる。日本の最大の原油購入先はサウジアラビア。もしサウジアラビアが混乱すると日本経済も危機となる。秋の米国大統領選挙を前にトランプ大統領の仕掛けた強烈なお年玉とも考えられなくもない。

2020年、年明けは波乱の幕開けとなりました。しかし平穏無事な年であるように願うばかりです。

今年も当社及び皆様のご愛顧よろしくお願いいたします。

多幸をお祈りいたします。

〈次回に続く〉



今月のクイズ

Q うさお君と亀之助君が100メートル競争をしました。亀之助君がゴールした時、うさお君はまだ90メートルのところを走っていました。そこで、今度はうさお君のスタートラインを10メートル先にして、もう一度競争し直すことにしました。さて、2人は同時にゴールできるでしょうか？

Vol369のクイズの答①0羽②保母さん

当選者（※①銃声でおどろいて逃げた②ぼぼ3（さん））

▼池田亜希さん　千葉県市川市三条市代官山

▼近藤久美子さん　柳川原ラーメン　宇藤ポンクス大係

▼石山岳穂さん　図

▼佐藤真弓さん

▼田辺タイ子さん

・クイズの答
・氏名
・住所
・年令
・おつとめ先
・メッセージ

だんさんのご応募ありがとうございました。

しめきり 3月10日